

1 対象

小学校4年生～6年生・中学生

2 ねらい

いじめられた人の気持ちに共感し、クラス全員で、いじめを防いだり解決したりしようとする意識をもち、クラスの一人としてできることを共有する。

3 準備するもの

- ワークシート（アイスブレイキング用、アクティビティ用）
- ワークシート（グループワーク用） ※適宜拡大して使用する。
- 資料（教師範読用）
- 登場人物のイラスト
- 付箋

4 解説

いじめはどの学校、どの学級、どの子にも起こり得る、最も身近で深刻な人権侵害である。教職員はその基本認識に立ち、「いじめは絶対に許されない」という意識の徹底を図り、いじめられている子どもを守りとおすこと、いじめている子どもには毅然とした姿勢で向き合うことが大切である。

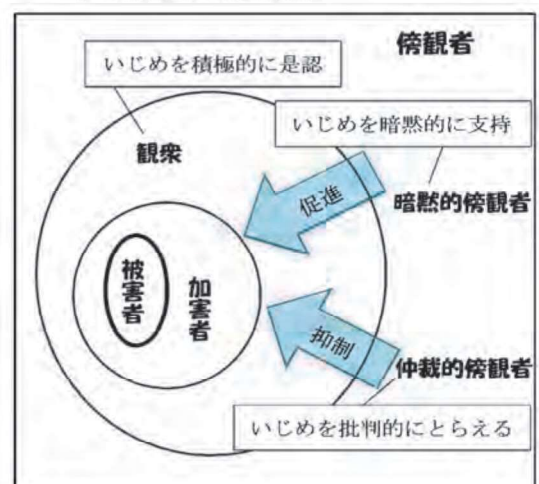
また、子どもたちの中にも「いじめは絶対に許されない」という意識を高め、自分の事として「自分もいじめてしまっているかもしれない」「人を傷つけていることに気づいていないかもしれない」という意識をもてるようにすることが必要である。しかし、子どもたちが「いじめ」と思っても、なかなか自分の事として捉えられず、見て見ぬふりをしてしまう場面がある。日頃から、いじめられた人の気持ちに共感し、クラス全員で、いじめを防いだり解決したりしようとする意識をもてるような取組が必要である。

社会学者の森田洋司氏は、いじめは「被害者」「加害者」「観衆」「傍観者」の4層（下図）から成り立っているとしている。いじめの持続や拡大には「加害者」と「被害者」以外の「観衆」や「傍観者」の立場にいる児童・生徒が大きく影響しており、「観衆」はいじめを積極的に是認し、「傍観者」はいじめを暗黙的に支持し、いじめを促進する役割を担っている。

しかし、傍観者がいじめを批判的にとらえ、よくないことだと発信するといじめの大きな抑制力となる。したがって、いじめについて指導するうえで「傍観者」を指導することは大変重要である。

このワークシートでは、「被害者」が「傍観者」や「観衆」についてどのように思っているかを考え、さらに「傍観者」「観衆」はどうしてそのようなふるまいをしたのかを考え、いじめの周囲にいる人たちが、その構成要因となっていること、さらに、いじめを自分たちがやめさせることができることに気づき、いじめに対しての関わり方について学ぶことをねらいとしている。

いじめの4層構造



5 進め方（展開例）45分（中学校50分）

時間	学習の流れ（活動・内容）	留意事項	資料など
導入 10分	<p>◆学習の確認（3分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業の流れの説明を聞く。 <p>◆アイスブレイキング（7分）</p> <p>「そろわない競争」</p> <ol style="list-style-type: none"> ファシリテーターが質問1を決める。参加者はその答えをワークシートに書く。 グループで、お互いの答えを発表し合う。全員が違う答えになればOK。 ①～②をくりかえす。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の流れを簡単に説明する。〔P4「学習を進めるにあたって」の内容〕を児童・生徒に伝える。 他人事にせずクラス全員で問題の解決策を考えることを伝える。 4～6人程度のグループで行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート（アイスブレイキング用）
<p>・それぞれの思いの違いに気づくことで、相手の考えや気持ちを思いやったり、尊重したりすることが大切だと感じる。</p>			
展開 25分 (中学校30分)	<p>◆アクティビティ（25～30分）</p> <p>「『いじめは絶対に許されない!』みんなにあるよ、できること」</p> <ol style="list-style-type: none"> 教師の説明を聞きながら、登場人物の関係性を確認する。 A（傍観者） B（加害者） C（被害者） D（観衆） E（傍観者） 自分がCさんの立場だったら、他の4人についてどのように思うか考えて付箋に書き、グループ用ワークシートに貼る。 Cさんの気持ちをグループで共有する。 Aさん、Dさん、Eさんはどうして、そのような行動をとったのか考えて付箋に書き、グループワークシートに貼る。 Aさん、Dさん、Eさんは、それぞれ何ができるのか、どうしたらよいのかグループで話し合い、まとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料（教師範読用）を読みながら、黒板などに登場人物の関係性を図にするなど、登場人物の関係が分かるように工夫する。 他の登場人物が心の中で何を思っていたとしても、Cさんにとっては「誰も助けてくれない」という思いになることに気づき、Cさんのつらさに共感できるようにする。 自分が書いた付箋を提示しながら説明を加え、グループワーク用シートに整理しながら貼ることを助言する。 いじめは、周囲にいる人達も、その構成要因となっていることに気づき、自分たちでやめさせることができることに気づくようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料（教師範読用） 登場人物のイラスト ワークシート（アクティビティ用） 付箋 グループワーク用シート

	<p>⑥⑤について、全体で発表する。</p> <p>発言の例</p> <ul style="list-style-type: none"> • 被害者のCさんの気持ちを考えて声をかける。 • AさんやDさん、Eさんに何か言う。 • クラスが仲良くなるようなことをしたらいい。 • みんなで考えていくことが大切だ。 	<ul style="list-style-type: none"> • 特定の人に対してだけではなく、クラス全体への提案でもよいことを伝える。 	
<p>まとめ</p> <p>10分</p>	<p>◆まとめ（10分）</p> <p>①「振り返り」に記述する。</p> <p>②各自の振り返りをもとに交流する。</p> <p>発言の例</p> <ul style="list-style-type: none"> • みんなで考えると心強いし、解決できると思った。 • 人任せにしないで、自分にできることをしたい。 <p>③まとめの話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 子どもの SOS を受け止められるように、振り返りの次に記述欄を設けてあるが、この記述欄に書かず、他の方法で伝えてもよいことを伝える。 	
	<p>• いじめを防ぐためには、いじめを見ている人（傍観者・観衆）がどのように行動するかが重要であると気づく。</p> <p>• 「いじめはいけないんだ」、「いじめは許さないんだ」という雰囲気をもみんなで作ろうとする態度を育成する。</p> <p>• 直接いじめを止められない場合でも、親や先生など周りの大人へ相談したり、アンケートに回答したり、いじめられている人に寄り添うなど、いじめを解決する手段はいろいろあることを知る。</p>		

<その他の留意事項>

- いじめを受けている子どもがいる場合には、実施について可否を熟考して判断し、実施する場合にも更に傷つくことがないように十分配慮を行うことが必要である。
- 授業後、アンケートを取るなどして子どもの SOS を受け止められるようにする。
- 時間が不足するようであれば、展開の④、⑤について、グループ毎にAさん、Dさん、Eさんのいずれか1人を割り当てるなどにより調整する。

<参考資料など>

- 「子どもの社会的スキル横浜プログラム 四訂版」 横浜市教育委員会（平成31年4月）
- 「いじめ問題への対応のポイント」 神奈川県教育委員会（平成24年）
- 「いじめの防止等のための基本的な方針」 文部科学省（平成29年3月最終改定）

◇ 「いじめは絶対に許されない！」 みんなにあるよ、できること

新しい学年になって、席が隣になったことがきっかけで AさんはBさんと仲良くなりました。Bさんは、活発でクラスの中で目立つ存在でした。一緒に遊んでいると、色々な面白いことを言って笑わせてくれます。

ところが、ある日、AさんはBさんがCさんに対して、「そこのけよ！お前、邪魔なんだよ！」ときつい口調で怒鳴っているのを見てしまいました。AさんはCさんと前から仲のいい友達だったので、「Cさん、大丈夫かな。」と少し心配になりましたが、特に話をするともないままでした。

Bさんは、段々とCさんに嫌な仕事を押し付けたり、言うことを聞かないと暴力をふるったりするようになりました。Aさんは、Cさんへのいじめをやめてほしいと思うのですが、Bさんが自分にも暴力をふるうかもしれないと思うと、はっきりということができません。

ついに次のようなことが起きます。

ある日の昼食時間、教室には次の5人がいました。Bさんは、Cさんのお弁当を取り上げて放り投げようとしてしました。Cさんは、「やめてよ。」と言いながら、泣きそうになっています。近くにいたDさんは、にやにやしながら見ただけです。Aさんは、見ていられなくなって、うつむいてしまいました。少し離れたところにいたEさんは、黙って教室から出て行ってしまいました。

そろわない^{きょうそう}競争

例：「好きな食べ物は何ですか？」

Aさん「お寿司」 Bさん「ステーキ」 Cさん「りんご」 Dさん「なっとう」

※全員がちがう答えなのでOK！

〔進め方〕

- ①ファシリテーターが質問1を決める。参加者はその答えをワークシートに書く。
- ②グループ内でそれぞれの答えを発表し合う。全員がちがう答えになればOK。
- ③ファシリテーターが質問2を決める。参加者はその答えをワークシートに書く。
- ④グループ内でそれぞれの答えを発表し合う。全員がちがう答えになればOK。

質問1	
自分の答え	

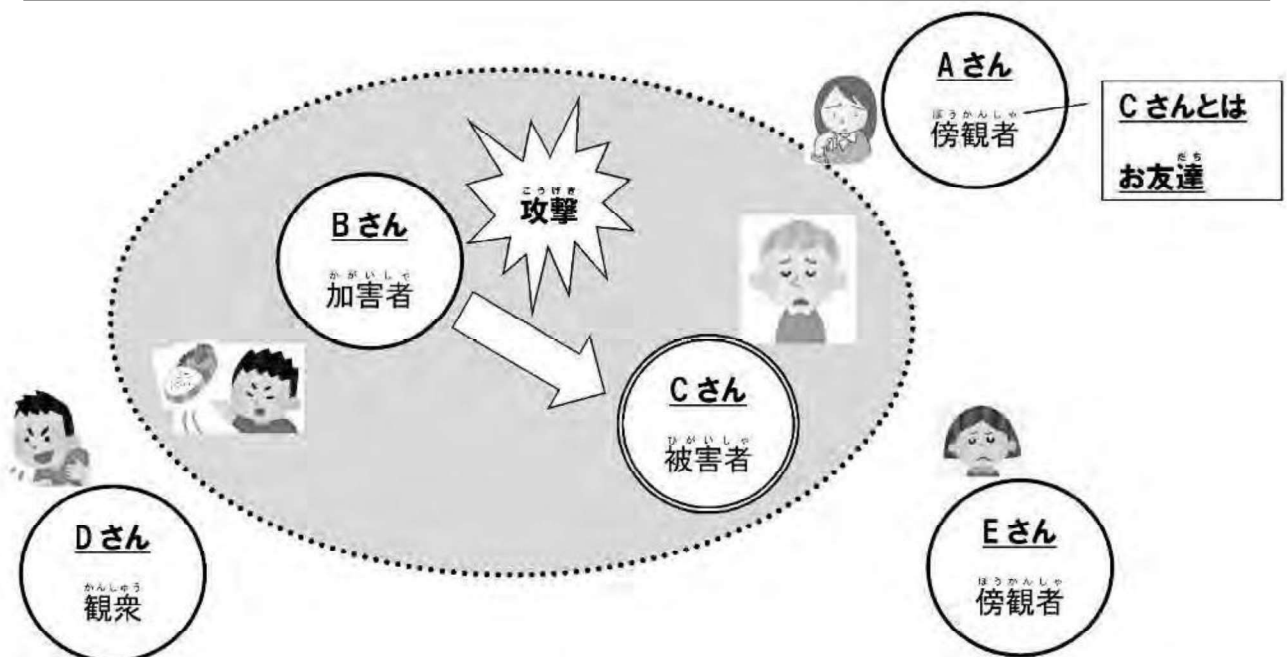
質問2	
自分の答え	

「いじめは絶対に許されない！」みんなにあるよ、できること

() 年 () 組 () 番 名前

次の資料を読んで、話し合ってみよう。

ある日の昼食時間、教室には次の5人がいました。Bさんは、Cさんのお弁当を取り上げて放り投げようとしています。Cさんは、「やめてよ。」と言いながら、泣きそうになっています。近くにいたDさんは、にやにやしながら見ているだけです。Aさんは見ていられなくなって、うつむいてしまいました。少し離れたところにいるEさんは、黙って教室から出て行ってしまいました。



1 あなたがCさんの立場だったら、あなたは、このとき、他の4人についてどのように思っているでしょうか。

2 Aさん、Dさん、Eさんはどうしてそのような行動をとっていると思いますか。

Aさんについて

Dさんについて

Eさんについて

3 Aさん、Dさん、Eさんは、何ができるのか、どうしたらよいと思いますか？

Aさんができること

.....
.....

Dさんができること

.....
.....

Eさんができること

.....
.....

◆◆振り返り◆◆

今日の活動をとおして、どんなことを感じましたか？ 気づいたことや感じたこと、学んだことについて書きましょう。

.....
.....
.....
.....
.....
.....

◆◆自分や友達^{たち}のことについて、話をしたいことがありますか？◆◆

() あります。 () ありません。
話したい先生 ()

Aさん
ぼうかんしや
傍観者

Aさんはどうしてそのような行動をとっていると思いますか。

Aさんは、何ができるのか、どうしたらよいと思いますか？

こうげき
攻撃

Bさん
かがいしや
加害者

あなたがCさんの立場だったら、あなたは、このとき、他の4人についてどのように思っているでしょうか。

Aさん

Bさん

Dさん

Eさん

Cさん
ひがいしや
被害者

Dさん
かんしゆう
観衆

Dさんはどうしてそのような行動をとっていると思いますか。

Dさんは、何ができるのか、どうしたらよいと思いますか？

Eさん
ぼうかんしや
傍観者

Eさんはどうしてそのような行動をとっていると思いますか。

Eさんは、何ができるのか、どうしたらよいと思いますか？